



確かな学力の向上をめざして【12月】

■幼児期の教育との円滑な接続に向けて

8月に「中部地区幼保小連携推進研修会」を開催しました。協議では、小学校区を中心としたグループで校区の現状と今後の幼保小連携の取組についての話し合いを行いました。（→詳しくは中部教育局HPに掲載）

「連携から接続へと発展するステップ」を参考に、円滑な接続に向けた取組をさらに進めてください。

「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」P.26～P.27

連携から接続へと発展するステップ

ステップ1 連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。

ステップ2 年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、
接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。

ステップ3 授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。

ステップ4 接続を見通して編成・実施された教育課程について、実践結果を踏まえ、更によりよいものとなるように検討が行われている。

今はどのステップでしょう

ステップ2 → ステップ3 【交流の充実のために】

- ☑小学校と園のそれぞれのねらいを明確にする
- ☑年間の交流計画を立てる
- ☑交流の指導案を小学校と園の職員が話し合いながら作成する
- ☑交流後に振り返りの機会をもち、成果と課題、今後の取組を確認する

平成27年度 交流実施計画 「みんなであそびたのしもう」

| | | |
|-------------|---|--|
| 1 日時 | 平成27年 11月16日 | 9時50分～11時10分 |
| 2 場所 | | |
| 3 参加者 | それぞれのねらいを明確に！ | |
| 4 ねらい | 年長児 <input type="checkbox"/> 小学校生活への期待をもちながら、1年生と一緒に遊ぶことを楽しむ。 <input type="checkbox"/> 秋の自然物を使い、ゲームや制作を楽しむ。 | 1年生（生活科） <input type="checkbox"/> 友達と協力しながら、みんなで楽しく遊ぼうとしている。（関・意・態） <input type="checkbox"/> 年長児にわかりやすくゲームや制作の方法を伝えることができる。（思・表） |
| 5 児童・園児のめあて | 配慮・支援を共通理解！ | |
| 6 活動の流れ | 活動 9：40 小学校に年長児到着 9：50 1. はじめの会 (のべアで自己紹介) | 年長児に対する配慮・支援等 ・事前にペアの相手、コーナーの名前とその内容を知らせる 1年生に対する配慮・支援等 ・司会の練習をしておくことで、大きな声で自信を持って |

ステップ3 → ステップ4 【接続を見通した教育課程編成のために】

スタートカリキュラム編成の留意点

- ①幼・保・こども園等と連携・協力すること
- ②個々の児童に対応した取組であること
- ③学校全体での取組とすること
- ④保護者への適切な説明を行うこと
- ⑤授業時間や学習空間などの環境構成、人間関係づくりなどについて工夫すること

「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」P.19～P.21

中部地区の小学校のうち、約7割はスタートカリキュラムを作成済みです。各校の実態に合わせて、スタートカリキュラムの作成や、より良いものとするための見直し・検討をお願いします。

チェックしてみましょう

- 園と連携・協力して作成していますか
- 全職員が内容について、知っていますか

* 「スタートカリキュラムスタートセット」（平成27年1月配布）や「鳥取県幼保小連携カリキュラム」（平成26年3月配布）を御活用ください。